

第70回日本病理学会 秋期特別総会（東京）モーニングセッションのご案内 （日本病理学会 国際交流委員会主催）

病理医としてのアドバンテージを体感しよう 第2弾 ー海外における病理医活動の紹介ー



ドーナツとコーヒー付き！

- 日時：11月8日（金）8：00～8：50 ***現地開催のみで、オンデマンド配信は行いません***
- 場所：日本教育会館 9F 喜山倶楽部 平安の間（第3会場）

本年度は、昨年同様 海外留学・勤務経験のある先生方に体験談を共有して頂いた後、**フリーディスカッションの時間**を設けます。

演者の先生方からの一言メッセージ

琉球大学 大学院医学研究科 細胞病理学講座 川上 史 先生

留学なんて私には縁がないと思っていましたが、日々の出会いや仕事を大切にすることが、留学を現実的に考えるスキルの涵養につながりました。文化や言語が異なる社会での仕事や生活は試練の連続。でも留学は人として、病理医として、かけがえのない生きる術を身につける素晴らしい機会だと思います。是非挑戦してください。

栃木県立がんセンター病理診断科・研究所 久保田直人 先生

コロナ禍の特殊な環境の中、米国留学の機会をいただきました。異国の地での生活では想定外なことも多いですが、現地での貴重な経験は自分を成長させてくれたと確信しています。留学を考えていらっしゃる先生方に、より具体的に現地での生活をイメージしてもらえよう、米国生活のtipsを紹介させていただきます。

小倉医療センター 臨床検査科 草野 弘宣 先生

何故か大学院生としてオランダに留学することになったお話です。運と縁に恵まれて、周りの先輩方も未体験のパターンを何とか乗り切ることが出来ました。チャンスを掴む コツとユニークな体験談で皆さんにも是非留学したいと感じていただけたらと思います。